

# オンライン卒後臨床研修評価システム

## EPOC

( Evaluation system of Postgraduate Clinical Training System )

## について

UMIN20周年記念講演会

2009/1/30

国立大学附属病院長会議  
オンライン卒後臨床研修評価システム運営委員会委員長  
東京医科歯科大学大学院  
田中雄二郎

# 臨床研修制度とは

## 医師法等の一部改正

- 平成12年改正、平成16年4月施行 -

1. 診療に従事しようとする医師は、2年以上臨床研修を受けなければならない
2. 臨床研修修了を医籍に登録、修了登録証の交付

# 臨床研修制度達成のための方策

(厚生労働省令)

## プログラム期間

内科(6ヶ月)、外科、救急、小児科、産婦人科、  
精神科、地域保健(各1ヶ月以上)

## 研修目標

行動目標 21

経験目標 手技 64 症状 52 疾患 88 現場 28

## 目標達成の担保

必修疾患・項目の設定

手技38 症状31 疾患(入院)10 (外来)38

達成線の設定 (経験疾患88のうちの7割 62)

レポート 31項目

# 臨床研修制度の認定基準

## 基本的臨床能力が具わったか

プログラム通り研修したか



必修分野と期間

目標に沿って研修したか



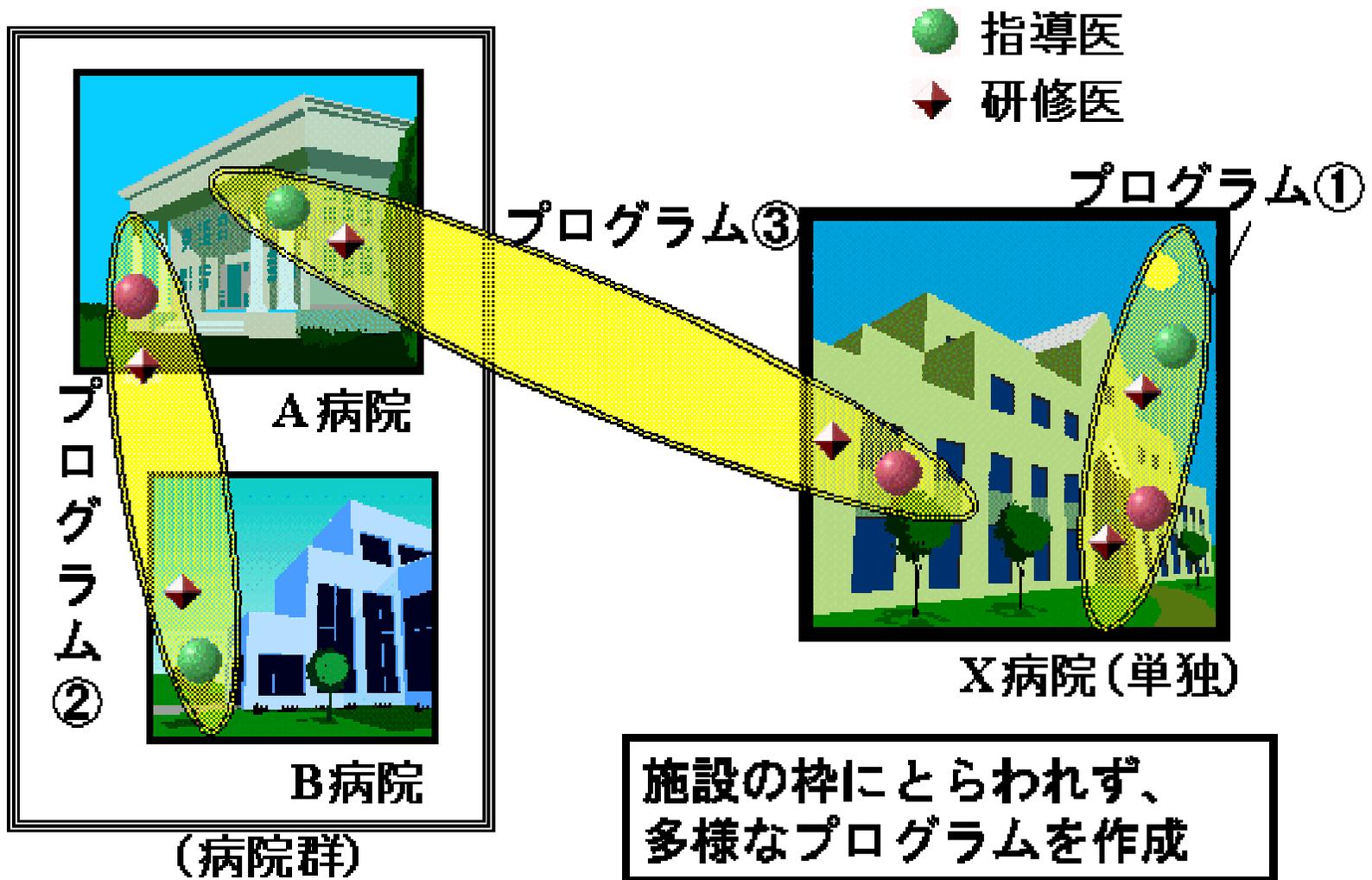
必修疾患・項目の経験

レポートの提出

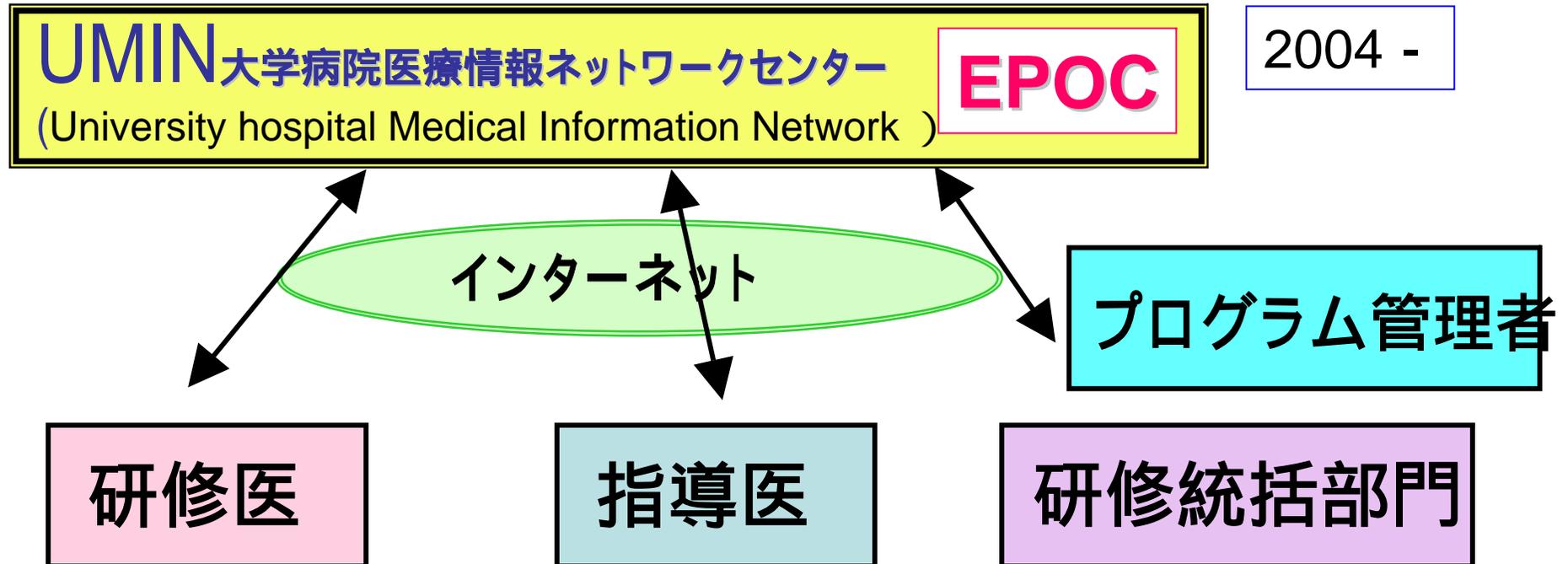
修了認定は**責任者がプログラムごと**に行う

**根拠ある評価が「研修の質」を保証**

# 卒後臨床研修プログラム イメージ図



# EPOCとはインターネットを利用した研修評価システム



- 国立大学医学部附属病院長会議で開発・運用
- 全国共通研修目標に準拠
- 協力病院・施設からもリアルタイムアクセス
- データは無期限保存
- 使用料金：2年間で2000円/研修医

# EPOCでは 自己評価と指導医による評価の二本建て



## 研修医評価表

### I. 行動目標項目 > 医療者として必要な基本姿勢・態度

● a=十分できる b=できる, c=要努力 (3段階評価) / ? =評価不能 ●

1. 患者－医師関係	b(できる)以上の項目数： 研修医評価 (3/3), 指導医による評価 (3/3)	
	研修医の 自己評価	指導医による評価
1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。	b	<input type="radio"/> a <input checked="" type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
2) 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。	b	<input type="radio"/> a <input checked="" type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
3) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。	a	<input checked="" type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力

● a=十分できる b=できる, c=要努力 (3段階評価) / ? =評価不能 ●

2. チーム医療	b(できる)以上の項目数： 研修医評価 (5/5), 指導医による評価 (5/5)	
	研修医の 自己評価	指導医による評価
1) 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。	a	<input checked="" type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
2) 上級及び同僚医師や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。	a	<input checked="" type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力

# 研修記録(抜粋)

## << 研修履歴 >>

	研修期間	研修日数	研修ブロック	診療科等	医療機関等	担当指導責任者
A	2006/04/01 2006/06/30	91日	内科	循環器内科	国家公務員共済組合連合会 秋田県立病院	松浦 明
B	2006/07/01 2006/08/15	46日	救急部門(麻酔科を含む)	救急科	国家公務員共済組合連合会 秋田県立病院	鈴木 謙一
C	2006/08/16 2006/09/30	46日	救急部門(麻酔科を含む)	麻酔科	国家公務員共済組合連合会 秋田県立病院	山本 正和
D	2006/10/01 2006/12/31	92日	内科	腎臓内科	国家公務員共済組合連合会 秋田県立病院	松村 謙一
E	2007/01/01 2007/03/31	90日	外科	外科	国家公務員共済組合連合会 秋田県立病院	福島 史朗
F	2007/04/01 2007/05/13	43日	精神科	精神科	東京医科歯科大学医学部附 属病院	川上 光平
G	2007/05/14 2007/06/10	28日	小児科	小児科	東京北里会病院	藤村 秀雄
H	2007/06/11 2007/07/08	28日	地域保健・医療	診療所	秋田県立診療所	川上 光平
I	2007/07/09 2007/08/05	28日	産婦人科	産婦人科	東京医科歯科大学医学部附 属病院	石井 智子
J	2007/08/06 2007/12/02	119日	選択科	病理部	東京医科歯科大学医学部附 属病院	岡田 英
K	2007/12/03 2008/03/30	119日	選択科	皮膚科	東京医科歯科大学医学部附 属病院	林 利雄

## << ブロック別研修期間日数 >>

研修ブロック	日数	研修ブロック	日数	研修ブロック	日数
1 内科	183日	4 小児科	28日	7 地域保健・医療	28日
2 外科	90日	5 産婦人科	28日	8 選択科	238日
3 救急部門(麻酔科を含む)	92日	6 精神科	43日	9 その他	0日

## ● レポートの提出

	0	25	50	75	100	達成度
全項目: 30 / 31						96.8 %
● レポート専用システムでの評価						
指導医の確認済み項目: /32						0 %
研修医の自己評価項目: /32						0 %

## ◆ 総計

	0	25	50	75	100	達成度
指導医の確認あり: 128/140 (35+17+88)						91.4 %
研修医の自己評価: 140/140 (35+17+88)						100 %

## 未経験項目リスト・未経験疾患リスト

(指導医の確認が行われていない項目は、未経験項目・未経験疾患扱いとなります)

頻度の高い症状 (※は必修項目)

未経験項目無し

緊急を要する症状・病態 (※は必修項目)

未経験項目無し

経験が求められる疾患・病態

A=入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出

B=外来診療または(受け持ち入院患者(合併症を含む)で自ら経験する

- (1)血液・造血器・リンパ網内系疾患
- [2]白血病
- [3]悪性リンパ腫
- (9)妊娠分娩と生殖器疾患
- [1]妊娠分娩(正常妊娠、流産、早産、正常分娩、産科出血、乳腺炎、産褥) (B)
- (11)眼・視覚系疾患
- [2]角結膜炎 (B)

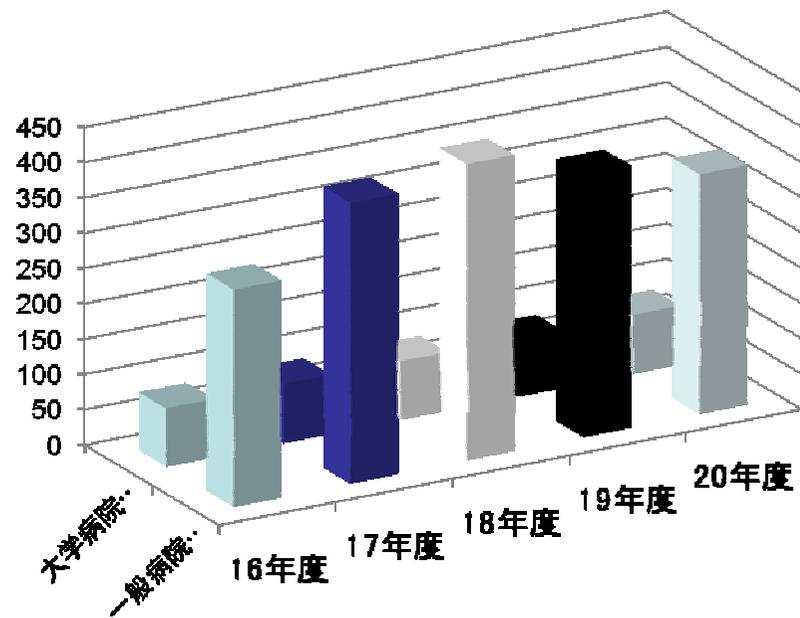
# EPOCの利点

- 自己評価を指導医評価により確認できる
- 達成度が随時わかる
  - 研修途中で達成度に応じ研修内容を検討できる
  - 修了認定間際の混乱が回避できる
- 研修記録を作成する労力が少ない
- 紛失の心配がない

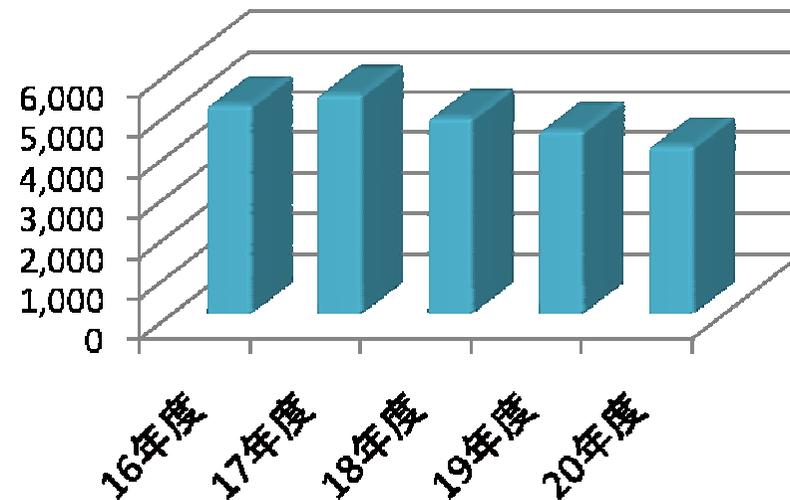


# E P O C 利用状況

一般病院プログラムの方が多い



登録は研修医の過半数を占める



# 今後の展望

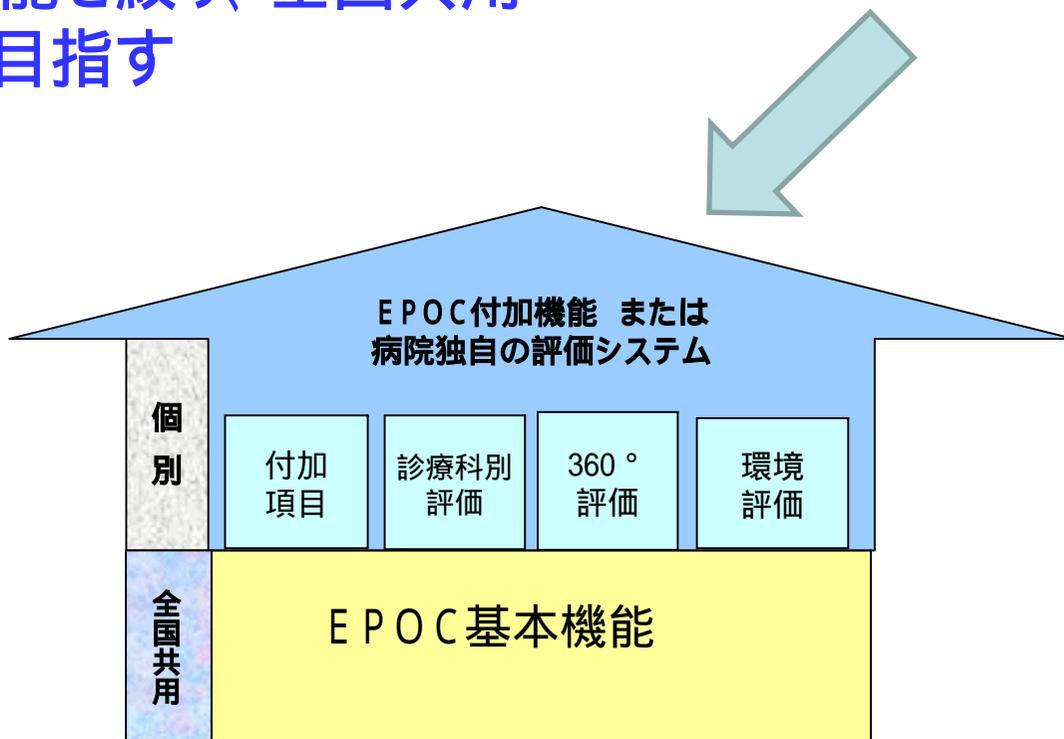
## 臨床研修見直し始動

医学部教育や新卒後の医師の臨床研修制度を見直し、医療の質向上や医師不足問題に対応しようと、厚生労働省と文部科学省は8日、有識者による検討会を開いて、議論を始めた。診療科や地域ごとの医師偏在問題などについても方策を探る。年内をめどに改革案をまとめる。

04年に始まった臨床研修制度では、新卒の研修医が自由に研修先を選べるようになり、市中の大病院に集中。若手が不足した地方の大学医局が、周辺病院に派遣していた医師を引き揚げ、地域の医師不足を招いたと指摘される。検討会では、研修医が技術

や実践的な知識を学びながら、医師偏在を改善する枠組みを検討。また医学部教育との連携を深め、技術向上を図る体制を考える。舛添厚労相はあいさつで、「養成のあり方にメスを入れない限り、医療崩壊に歯止めをかけることは出来ない」と話した。

機能を絞り、全国共用を目指す



# EPOCとUMIN

## UMINにとってのEPOC

- IDを取得67大学の医学生が卒業前にUMIN IDを取得(19年度)
- 指導医もUMIN IDを取得

→ 医師にとってUMINが身近に

## EPOCにとってのUMIN

- 安価で安全なインターネット環境が実現
- 5年間 トラブルフリー

→ 研修の質を保証した



UMIN ID	所属大学	UMIN ID取得状況	UMIN ID取得時期
	東京慈恵会医科大学		
	新潟大学		
	広島大学		
	名古屋私立大学		
	浜松医科大学		
	関西医科大学		
	筑波大学		
	日本医科大学		
	秋田大学		
	藤田保健衛生大学		
	横浜市立大学		
	高知大学		
	佐賀大学		
	東邦大学		
	京都大学		
	山梨大学		
	旭川医科大学		
	産業医科大学		
	宮崎大学		
	東京医科大学		
	九州大学		
	三重大学		
	順天堂大学		
	和歌山県立医科大学		
	滋賀医科大学		
	東京女子医科大学		
	岐阜大学		
	徳島大学		
	北里大学		
	兵庫医科大学		
	埼玉医科大学		
	富山大学		
	長崎大学		
	福井大学		
	山形大学		
	愛知医科大学		
	鳥取大学		
	群馬大学医学部附属病院		
	鹿児島大学		
	昭和大学		
	北海道大学		
	弘前大学		
	島根大学		
	琉球大学		
	福岡大学		
	東海大学		
	愛媛大学		
	熊本大学		
	自治医科大学		
	大分大学		
	金沢医科大学		
	千葉大学		
	聖マリアンナ医科大学		
	帝京大学		
	大阪市立大学		
	久留米大学		
	慶應義塾大学		
	日本大学		
	山口大学		
	京都府立医科大学		
	金沢大学		
	香川大学		
	名古屋大学		
	岡山大学		
	徳島大学		
	獨協医科大学		

ページにいます。

2007/11/26現在